

「第17回全国スポーツ・レクリエーション祭」フリー参加種目
生涯スポーツの祭典・スポレク福井2004

< 太 極 拳 大 会 >

～ 30歳代・40歳代・50歳代の各県代表が福井県今立町で演武交流～

「第17回全国スポーツ・レクリエーション祭」(スポレク福井2004)が10月2日(土)～3日(火)の4日間、福井県で開催された。

「ふれあい交流会」で初心者対象に / 長拳・カンフー体操と太極拳講習

フリー参加種目・太極拳は、10月2日(土)に「ふれあい交流会」が今立町ふれあいプラザで、翌3日(日)に種目別大会・太極拳競技大会が南越中学校体育館でそれぞれ行なわれた。いずれも、文部科学省、福井県、(財)日本体育協会、(財)日本レクリエーション協会、全国体育指導員連合、日本連盟、および今立町の主催。福井県連盟、今立町実行委員会が主管団体として大会運営にあたった。

日本連盟は元太極拳世界チャンピオンの孔祥東特別招請コーチを今回の全国スポレク祭に派遣した。孔祥東コーチは、太極拳大会で地元の子供たちとともにジュニア太極拳の演武を行なった。

「ふれあい交流会」の長拳・カンフー体操の指導は、日本連盟長拳普及委員会の中村剛委員が担当した。

38都道府県の代表選手60人が出場 / 審判員10人が「技術点」「表現点」の採点

翌日の「太極拳大会」では、1)30歳代・42式太極拳、2)40歳代・24式太極拳、3)50歳代・24式太極拳の3部門で競技が行われ、38都道府県から選手60人が参加した。

福井県のほぼ中央に位置し、「和紙の里」として知られる福井県今立町に全国の愛好者代表が集い、日頃の練習成果を発表し、交流を深めた。

なお、大会前日に今立町および福井県連盟の主催による歓迎宴が今立町「魚栄楼」で盛大に行なわれた。辻岡俊三今立町長、今立町議会の伊藤康司議員(総務文教常任委員長)、県連盟の伊藤武夫会長はじめ地元の心づくしの歓迎に、出場者一同胸を熱くした。

開始式で、大会競技委員長の大西義幸福井県連盟理事長が開会を宣言した。大会会長の辻岡俊三今立町長が主催者あいさつ、福井県連盟の伊藤武夫会長が

歓迎のことばを述べた。川崎雅雄総審判長が競技ルールについての説明、注意を述べ、福井県代表(50歳代)の小林礼治選手による選手宣誓に引き続き競技に入った。

出場者はおもいおもいの音楽を使用して演技時間3分以上4分以内で演武。判定はこれまで同様に、技術点と表現点がそれぞれ各10点、合計20点満点。審判団は、技術点の採点をする執行審判員5人、および表現点を採点する執行審判員5人、計10人の体制で、得点は「技術点」と「表現点」に分けて発表された。

今立町小学生が長拳集団演武 / 来年は10月に岩手県盛岡市で

大会では各種アトラクションが披露された。昼食休憩時には、上述の通り孔祥東コーチが地元の児童とともにジュニア太極拳演武を行い、また地元の小学校4校(花筐小学校・岡本小学校・南中山小学校・服間小学校)の児童57人が長拳(カンフー体操)集団演武を元気良く披露した。

表彰式の前には、孔祥東コーチが総合太極拳の特別演武、県連盟所属指導員が太極拳梅花扇集団演武を披露した。

表彰式で、各部門の1位～10位の選手がスポレク賞の表彰を受けた。大会閉会にあたり、今立町の辻岡俊三町長、および日本連盟の村岡久平副会長が挨拶を述べた。最後に、福井県今立町から次期開催地＝岩手県盛岡市への大会旗引継ぎが行なわれた。辻岡俊三今立町長から大会旗を引き継いだ盛岡市教育委員会事務局生涯スポーツ課主幹で全国スポレク祭盛岡市実行委員会事務局の鎌田孝雄班長が盛岡市の谷藤裕明市長のメッセージを代読した。福井県連盟の大西義幸理事長が閉会宣言を述べ、大会の幕が降ろされた。

今立町小学生が長拳集団演武 / 来年は10月に岩手県盛岡市で

来年の「スポレク岩手2005」は岩手県で10月1日～4日の開催。フリー参加種目・太極拳<太極拳大会>が10月2日(日)に盛岡市で実施される。再来年以降の全国スポレク祭の開催予定地は2006年・第19回鳥取県、2007年・第20回青森県、2008年・第21回滋賀県、2009年・第22回宮崎県、2010年・第23回滋賀県、2011年・第24回栃木県。

なお、福井県連盟は今大会の記録ビデオを作製した。出場者だけでなく一般希望者にも有償頒布を行なっている。

(日本連盟機関誌「武術太極拳」2004年10月号・179より)

大会成績一覧は[「国際競技大会、全国大会成績」](#)を参照。

第17回 全国スポーツ・レクリエーション祭 スポレク福井2004

太極拳大会



日本武術太極拳連盟

